

## 自己点検・評価項目

日本語教育機関名：ウエル日本語学院

点検対象時期：2022年4月～2023年3月

点検実施責任者：藤原 武則（学院長）

点検実施担当者：野崎 武徳、杉岡 正輝、HUYNH THI THANH TRAM

報告書作成時期：2023年6月22日

ウエル日本語学院 趣旨

ウエル日本語学院は医療・介護施設を展開し、先進的な医療・介護の人材育成を行ってきたウエルグループが母体です。

- 1 経験・知識が豊富な日本語講師陣による学習者が伸びる日本語教育を実施します。
- 2 学生の日本語力向上と日本の社会への適応を最優先に考えた厳しい学生管理を行います。
- 3 世界的な高齢社会の将来を見据え、最先端の日本の看護・介護の世界へ導きます。

## 評価項目

評価基準：

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

### 1、教育理念・目標

評価項目		
1-1	学校の理念・教育目標は定められているか	5
1-2	本年度の教育目標・計画は定められているか	5
1-3	学校の理念・教育目標は教職員に周知されているか	5
1-4	学校の理念・教育目標について、入学を検討している学生・保護者、留学仲介業者に告知する努力をしているか	5
1-5	進学率を達成しているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

語学教育を通じた国際交流、グローバル社会に対応した力を養成する。日本の能力試験対策、日本留学試験対策を行い多くの学生の合格を目指し、希望進路が定まり夢がかなうべく教育を行っている。

### 2、学校運営

評価項目		
2-1	運営方針は定められているか	5

2-2	事業計画は定められているか	5
2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4	日本語教育機関の告示基準に適合している。	5
2-5	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図れているか	5
2-7	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-7	危機管理体制は整備されているか	5
2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できているか	5
2-9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 役職と役割を明確に定め、それに従った組織運営を行うことができている。部署ごとの会議を定期的に行い、計画的な運営が行えている。
- ② 地域の公共機関（大阪生野区）、所轄署（生野区警察署）及び大阪出入国管理局との密な連携。
- ③ 災害などの対策については定期的な避難訓練を行ったりする、非常時の連絡方法や行動指針などを検討できている。

3、教職員

評価項目		
3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
3-3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか	5
3-4	教職員評価を行っているか	5
3-5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 定例的な運営委員会の開催。
- ② 定期的に行う教職員の全体ミーティング。
- ③ 勉強会、ミーティング、授業見学などにより教育の質の向上を図る。

4、教育活動

評価項目		
4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2	教育目標に合致した教材を選定している。	5

4-3	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	5
4-4	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5
4-5	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
4-6	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っているか	5
4-7	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
4-8	成績評価は適切に行われているか	5
4-9	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5
4-10	学生の自己評価を把握している。	5
4-11	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理しているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 授業見学と自己評価にもとづく面接の実施。
- ② 初級①、初級②、中級①、中級②、上級の体系的なカリキュラムを編成。
- ③ 教員により授業見学および学生による授業評価(アンケート)を実施。

## 5、学生支援

評価項目		
5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	4
5-4	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-5	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-6	保護者と適切に連携しているか	5
5-7	休日及び長期休暇中の学生対応ができているか	5
5-8	卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 入学時に入国オリエンテーションを実施する。
- ② 入国オリエンテーションは、入国管理に関する知識を指導し、日本の法律のうち学生に直接関係あるものについて指導を行う。オリエンテーション後に役所に行き、在留カードの登録、国民健康保険の加入、銀行に行き、銀行口座の開設をサポートする。
- ③ 入学後1か月以内に健康診断を実施、さらにその1年後にも実施する。
- ④ 学生にアルバイト先、業務内容、勤務時間を申告させ、生活指導担当職員が把握する。
- ⑤ 学生相談については各国語で対応できる職員を置き、学生が困った時や将来についていつでも

相談できるよう母国語で直接または通訳で行っている。また SNS でいつでも母国語で相談できるような状態にしている。

- ⑥ 入学申請時より、学生の希望進路について確認を行う。入学後はすぐに学生が理解できる言葉で進路に関する説明会を実施し、不安を解消するとともに、目標設定をさせる。学生の一人ひとりが希望する進学・就職が果たせるように組織的に支援する。
- ⑦ 特別奨学金を設け、条件を満たした学生に学費を全額貸付。その他の奨励金制度もある。
- ⑧ 学生に日本文化、社会についての理解を促すため、学校はレクリエーション活動を行っている。
- ⑨ 卒業生に対し、OB会を開催して、情報の共有を図っている。

## 6、在籍管理と生活指導

評価項目		
6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	入管事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めているか	5
6-3	入国管理局により認められた申請等取次者を配置しているか	5
6-4	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	4
6-5	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-6	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っているか	5
6-7	在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか	5
6-8	感染症発生時の措置を定めているか	5
6-9	常に最新の学生情報を把握しているか	5

### <現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 複数の入管業務申請取次者の配置。中国、ベトナム、英語などネイティブ職員を通じたオリエンテーション、デイリーケアの実施。
- ② 生活指導担当と所管警察署との連携による安全・防犯教育の実施。
- ③ 学生近況報告と担任面談の実施。
- ④ 定期的に寮生の寮会議を実施。

## 7、学生の募集と受け入れ

評価項目		
7-1	学生の受入方針は定められているか	5
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5

7-5	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか	5
7-6	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

- ① 学生の受入方針については、各国の担当者が募集基準を作成し、足切り条件を設けると同時にどのような学生をどのくらいの人数受け入れるのか、比率を設定している。
- ② 学生の募集については、担当者が直接現地で面接をするか、SNS等を通し面接を行なっている。その際、本人の目的意識、支弁能力、勉学意欲の確認に加え、本人の目的に応じたアドバイスも同時に行い、ビジョンを持った状態で日本に来させるよう努めている。
- ③ ウェルグループの社長と学院長が各国の現地日本語学校に訪問し、募集活動を確認する。

## 8、財務

評価項目		
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2	予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか	5
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

綿密な事業計画、及び毎月の予算管理を行うことにより財務基盤は年を追うごとに安定してきている。今後も継続して会計監査を適正に行い、さらなる経済的安定をめざし、学生へのサービス向上、教職員の待遇改善を図り、より高いレベルでの日本語教育ができる体制を作っていきたい。

## 9、法令などの遵守

評価項目		
9-1	法令、設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5
9-3	自己点検・自己評価の実施と改善に努めているか	5
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

自己評価から第三者評価に向けて取り組みを進める。

## 10、社会貢献

評価項目		
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

近隣の清掃活動を行い近隣とのコミュニケーションを図り学校の理解を得るようにしている。